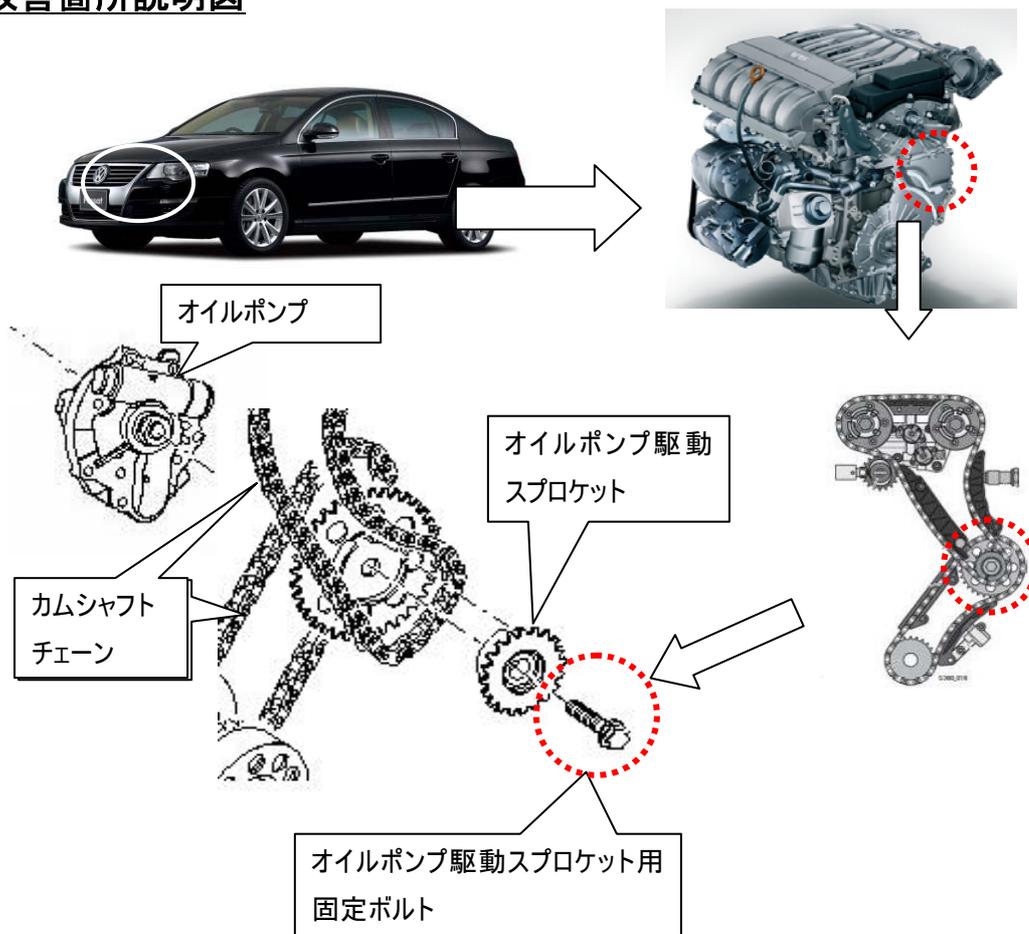


VOLKSWAGEN Group Japan KK

改善箇所説明図



不具合発生箇所

オイルポンプ駆動スプロケットを固定するボルトに誤品が組み付けられたため、原動機冷間時に高回転で原動機を回すと、当該ボルトの締め付け力を超えるトルクが加わることがある。そのため、ボルトに緩みが発生し、そのまま使用を続けると、ボルトが折損し、オイルポンプが駆動できなくなり、最悪の場合、潤滑不足により原動機が停止するおそれがある。

改善箇所

全車両、原動機制御プログラムを冷間時に高回転にならないプログラムに書き換える。またプログラム書き換え後、異音が発生しているものや警告灯が点灯しているものはボルトを正規品と交換する。

識別 : キャンペーンステッカーに「20N6、日付（西暦・月・日の順）、ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に貼りつける。

